

## 平成27年度 此花区運営方針

## ◆計画

## 区の目標（何をめざすのか）

区民が安全で安心して暮らせるまち、魅力を高め発展するまち「このはな」を実現する。

## 区の使命（どのような役割を担うのか）

- ①区内の基礎自治に関する施策や事業を、区や地域の事情・特性に即して総合的に展開する。
- ②住民に身近な行政機関として、さまざまな主体による地域活動の総合的な支援を行う。
- ③区民の日常生活の安全・安心を担う総合拠点として、便利で親切な行政サービスを提供する。

## 平成27年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）

此花区は、工業地帯として発達してきた歴史をもち、庶民的なまちである。近年はテーマパークの存在やマンション建設による住民の増加で、まちのイメージが変わりつつあるほか、舞洲・夢洲のあるベイエリアという特徴もある。そこで、此花区民のあたたかい人情やコミュニティ意識をいかし、幅広い区民の意見やニーズを把握しながら、津波避難対策などの安全安心で魅力あるまちづくりや健康福祉の推進を図る。とりわけ、若い世代の地域参加を促進するなど地域活動の一層の活性化を図りつつ、地域活動協議会の運営支援など自律的な地域運営が実現されるよう支援していく。また、区政運営に当たってはPDCAサイクルの徹底など、事務事業の見直し、ムダを徹底的に排除すると共に成果を意識した行財政改革を進める。

## 重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題1 災害に強く、犯罪の少ない安全安心なまちづくり】</b> ・地震災害等の発生時に、地域住民が災害対策のリーダー役の住民の指揮の下、適切な避難行動等を行えるよう、各地域の自主防災組織のリーダー役の災害対応スキルの向上や、新たな防災の担い手の確保を行う。 ・また、ひったくり等の街頭犯罪や放置自転車の発生が少なく、区民が安心して暮らせるよう、地域における子どもや高齢者の見守り体制の確保や自転車利用ルールの徹底を図る。	<b>【1-1 災害に強いまちづくり～地域特性に応じた地域防災力の向上】</b> ・地域ごとの自主防災組織における具体的な津波避難計画の策定 ・多様な世代の参加と育成に重点を置いた実践的な津波避難訓練の実施 <b>【1-2 地域防犯対策の推進と自転車利用ルールの徹底】</b> ・街頭犯罪や子ども声かけ事案に対する地域の実情に応じた啓発・巡視の実施
主な具体的取組（27年度予算額）	
<b>【1-1-1】自主防災組織の防災力の向上(27年度 33,129千円)</b> ・地域ごとの津波避難計画の策定、避難訓練の実施 ・浸水区域外への避難計画の策定、訓練の実施 <b>【1-2-1】区民の安全確保のための防犯対策事業(27年度 1,350千円)</b> ・自転車盗に関する毎月26日の「二重ロックの日」におけるワイヤーキー配布の継続実施 ・地域ごとの「子ども見守り隊」やPTAとの意見交換会の開催	
経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題2 生き抜く社会力を身につける教育と子育てしやすい環境づくり】</b> ・子どもが自分自身の未来に希望を持ち、生き抜く社会力を身につけることができるよう、学校における学習以外に、実社会に触れる機会を提供する。 ・子育てに関する地域、行政のネットワークが充実し、区民が安心して子育てができるよう、ICTを活用した子育て情報の提供や、地域における相談体制を構築する。	<b>【2-1 未来に向けた実践的な教育環境づくり】</b> ・区内各小・中学校と連携したキャリア教育講座の開催 ・ネイティブスピーカーと生きた英語を学ぶ「英語交流事業」の実施 <b>【2-2 地域ぐるみで子育てをするまちに】</b> ・ICTなどを活用した子育て情報提供の仕組みの構築
主な具体的取組（27年度予算額）	
<b>【2-1-1】子どもたちの未来のために！！事業(27年度 6,455千円)</b> ・中学生を対象とするキャリア教育講座及び小学生を対象とする実社会に触れる取組の実施 ・ネイティブスピーカーとの共同作業による英語劇の創作及び発表会の開催 <b>【2-2-1】子育て応援の取組(27年度 2,976千円)</b> ・主に乳幼児の子どもを育てる家庭に対する、ICTなどを活用した適切な支援、相談及び情報の提供	

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題3 誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時はもとより日常生活においても、高齢者・障がい者等が、地域社会において見守られ、必要に応じて適切な支援を受けることができるよう、見守り活動等の取組を継続的に実施していくための担い手を育成する。</li> <li>・区民が自らの健康の維持に留意し、具体的取組を行うため、運動習慣や検診受診率向上について、意識啓発や実践に結びつく環境づくりを行う。</li> </ul>	<p>【3-1 地域に密着して福祉課題の解決をめざす】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティアの協力を得て「このはな地域見守りタイ」による高齢者等の見守り活動の実施</li> </ul> <p>【3-2 健康でいきいきと暮らせる環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり施策の効果的な実施のため、区民の意識、活動実態を定期的に把握する。</li> </ul>

主な具体的取組（27年度予算額）

<p>【3-1-1】高齢者等の見守り活動の取組(27年度 27,258千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアリーダーを中心に地域住民で構成する「このはな地域見守りタイ」による高齢者等への訪問、電話、安否確認</li> </ul> <p>【3-2-1】このはないきいき長生きプラン(27年度 4,055千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の健康づくりに関する意識や活動について調査する。</li> </ul>
--

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題4 このはなの魅力や可能性を最大限に活かした地域活力の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が自分の住むまちに誇りと愛着を持ち、地域の公益的活動に積極的に参画するために、あらゆる世代へ向けた積極的な情報発信や、此花のまちの魅力に関する自由な意見交換の場を提供するとともに、舞洲を活用したイベントの開催によって、此花のまちの新たな魅力を創出する。</li> <li>・区民が日常生活のなかで、自律的に環境に配慮した活動を行うため、子どもへの啓発や多世代が参加できる環境づくりの取組を推進する。</li> </ul>	<p>【4-1 人を育てる視点で「このはな」の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞洲が此花区の新たな魅力資源であるという認識を区民に印象づけるためのスポーツ・レクリエーション関係のイベントの実施</li> </ul> <p>【4-2 環境先進都市・大阪をめざすために行う環境創造のモデル的な取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募による新たな環境創造の取組の支援</li> </ul>

主な具体的取組（27年度予算額）

<p>【4-1-2】MKBプロジェクト(27年度 3,361千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が舞洲の魅力を変えて知ることができるよう、舞洲のスポーツ施設を活用した「MKBの祭典」を開催</li> </ul> <p>【4-2-1】このはな環境創造プロジェクト(27年度 5,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近で日常的に取組める環境活動（清掃、緑化等）の活性化</li> </ul>
---

「平成27年度 市政改革の基本方針（案）」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
歳入の確保 国民健康保険料の収納率向上	・保険料負担の公平性の確保と本市の歳入増を図る。
主な取組項目	取組内容
自律した自治体型区政運営を支える職員の育成	・職員のスキル向上に向けた各種研修の充実や職場風土づくり等

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと
<p>此花区では、「災害に強く、未来に希望が持てる、魅力あるこのはな」をめざし、以下の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○区内の大半が海拔0メートル以下という地域特性に鑑み、自主防災組織の訓練活動についての支援や浸水区域外への避難計画の策定を行った。防犯については、警察と連携した情報発信や自転車盗に関する区民向けキャンペーンに取り組んだ。</li> <li>○小中学校との連携を強化し、特色ある学校づくりの支援としてキャリア教育講座を実施したほか、英語を使って学ぶ「KONOHANAライブ」英語劇事業や区内在住高校生を対象とした高校生インターンシップ事業の取組を実施した。また、子育て支援については、子育て世帯への情報提供や地域団体との協働により講座を開催するなど子育て支援ネットワークの強化を図った。</li> <li>○地域福祉推進のため、「このはな地域見守りタイ」による高齢者等の見守り活動や、専門員による「見守り相談室」の設置など見守りネットワークの強化を図った。健康づくりについては、ポイント制によるウォーキング・健康体操等の取組を実施した。</li> <li>○このはなの魅力発信においては、舞洲のスポーツ施設を活用した「MKBの祭典」を開催したほか、区内外の参加者からのアイデアをもとに新しい取組を創出する「このはなブランドラウンドテーブル」を実施した。環境創造のモデル的な取組みの推進については、環境創造に係る啓発・情報発信や子どもへの環境教育の推進を図った。</li> </ul>

解決すべき課題と今後の改善方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>○津波避難計画の策定については、津波避難施設に地域的な偏りがあることから、それらを踏まえた計画の原案を区役所から示すことで計画策定を促していく。</li> <li>○子どもたちが生き抜く社会力を身につけるきっかけとなる教育環境づくりについては、保護者の理解を深める取組として、今後、保護者向けの講座を実施するなど内容をより充実させ、その内容を学校協議会等の場で周知していく。</li> <li>○地域福祉については、「このはな地域見守りタイ」のボランティアが積極的に声かけ等の見守り活動を行えるような工夫を図っていく。</li> <li>○このはなの魅力や可能性を最大限に活かした地域活力の創出のため、MKBプロジェクトやこのはな環境創造プロジェクトについて取組内容の充実や発信を行っていく。</li> </ul>

## 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題1

【災害に強く、犯罪の少ない安全安心なまちづくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

## 【防災】

1 地震災害等の発生時に、地域住民が災害対策のリーダー役の住民の指揮の下、適切な避難行動等を行える状態

## 【防犯】

2 ひったくり等の街頭犯罪や放置自転車の発生が少なく、区民が安心して暮らせる状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

## 【防災】

（東南海トラフ地震の被害想定）

- ・此花区は、海拔0メートル以下の地帯が大半を占めており、大規模な浸水、建物の倒壊など様々な被害が生ずる。
- ・津波の到達：地震発生後約113分、津波の高さ：最大大阪湾最低潮位より5.4m

（区の実施状況）

- ・地域ごとの自主防災組織の設置
- ・地域ごとの津波避難訓練（平成26年12月末現在 4地域）
- ・収容避難所ごとの避難所開設訓練（平成26年12月末現在 1地域）
- ・地域防災リーダーの年齢構成；70歳以上：30%（平成26年4月1日現在）

（地域住民の実施状況）

- ・地域ごとの自主防災組織による訓練
- ・地域防災リーダーによる可搬式ポンプ訓練などの技術訓練
- ・地域ごとの防災ワークショップ等の開催

## 【防犯】

（区の実施状況）

- ・子どもの登下校の見守りを行っている「子ども見守り隊」は「老人クラブ」が中心となって活動しているところが多い。

（街頭犯罪等の発生状況）

- ・H25年の街頭犯罪発生件数は24区最少
- ・此花区街頭犯罪発生件数  
26年：412件（うち自転車盗260件）
- ・子ども声かけ事案発生件数  
25年：21件
- ・放置自転車撤去台数（建設局2月調査）  
23年度：553台 24年度：545台 25年度：309台

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

## 【防災】

- ・各種の訓練や地域における防災の実施に参画する地域住民の固定化、高齢化

## 【防犯】

- ・地域における防犯や子どもの見守りの実施に参画する地域住民の固定化、高齢化
- ・駐輪場の利用が進んでいない。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

## 【防災】

- ・各地域の自主防災組織のリーダー役の災害対応スキルの向上
- ・新たな防災の担い手の確保

## 【防犯】

- ・地域における子どもや高齢者の見守り体制の確保。
- ・自転車利用ルールの徹底。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

区内の大半が海拔0メートル以下という地域特性に鑑み、自主防災組織の訓練活動についての支援や浸水区域外への避難計画の策定を行った。今後は、地域の自主防災力の強化のため無線機担当の養成やワークショップを積み重ねるなど防災訓練の内容の充実を図っていく。

防犯については、警察と連携した情報発信や自転車盗に関する区民向けキャンペーンに取り組んだことにより、街頭犯罪発生件数の24区中最少を維持することができたと認識している。今後は、子ども声かけ事案についてPTAなど地域団体との意見交換を密にし、情報の共有化を図る。

めざす成果及び戦略 1-1 【災害に強いまちづくり～地域特性に応じた地域防災力の向上】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震災害発生時に取るべき行動について地域住民が理解している状態</li> <li>地域における災害対策のリーダー役が適切な指揮を行えるスキルを身につけている状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ごとの自主防災組織における具体的な津波避難計画の策定</li> <li>多様な世代の参加と育成に重点を置いた実践的な津波避難訓練、避難所開設訓練の実施</li> <li>津波避難等にかかる必要な物資、機材の確保</li> </ul>
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地震に対する備えを何もしていない区民の割合:20%以下(目標年次:29年度)</li> <li>災害が起きた際の避難行動について認識している区民の割合:70%以上(目標年次:29年度)</li> </ul>	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況		前年度   個別   全体	—	
	大地震に対する備えを何もしていない区民の割合:35.3%	45%	A	A	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	災害が起きた際の避難行動について認識している区民の割合:86.5%	—	A		—
戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない			

具体的取組 1-1-1 【自主防災組織の防災力の向上】

25決算額 4,209千円 | 26予算額 2,564千円 | 27予算額 33,129千円

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ごとの津波避難計画の策定(10地域)</li> <li>津波避難訓練(10地域)</li> <li>避難所開設訓練(10地域)</li> <li>地域防災リーダーに対する技術訓練(10地域)</li> <li>中学生への防災授業(3校)</li> <li>浸水区域外への避難計画の策定、訓練の実施(年1回以上)</li> <li>津波避難施設ごとの無線機の配備</li> <li>災害時に備えた資機材や備蓄物資などの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し訓練を行うことを必要とする区民の割合:80%以上【撤退基準】</li> <li>上記目標が50%以下であれば、事業内容を再構築する。</li> </ul>
		前年度までの実績
		25年度 7地域で津波避難訓練を実施。避難所開設訓練 未実施。 26年度 4地域で津波避難訓練を実施。避難所開設訓練、1地域で自主防災組織による避難所開設訓練実施(平成26年12月末現在)

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ごとの津波避難計画の策定(2地域)</li> <li>津波避難訓練(6地域)</li> <li>避難所開設訓練(8地域)</li> <li>地域防災リーダーに対する技術訓練(10地域)</li> <li>中学生への防災授業(2校)</li> <li>浸水区域外への避難計画の策定(有)、訓練の実施(1回)</li> <li>津波避難施設ごとの無線機の配備</li> <li>災害時に備えた資機材や備蓄物資などの整備(アルミマット・腕章・ゼッケン・ソーラーランタン等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波避難施設には地域的な遍在がある。</li> <li>防災訓練の実施については、地域ごとの自主防災組織が実施する取組の進捗度合いに差があることや、地域の他の行事等との調整で、新たな防災関係の日程を組み込むことが困難となっている。</li> <li>浸水区域外への避難計画の策定を行ったが、計画を実行するためには市全体の調整が必要。</li> <li>無線機の配備は行ったが、今後、無線機を有効に活用するため地域の無線担当を養成する必要がある。</li> </ul>	
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	繰り返し訓練を行うことを必要とする区民の割合:95.9%	①(ii)	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波避難計画の策定については、地域的な遍在も踏まえた計画の原案を区役所から示すことで計画策定を促していく。</li> <li>防災訓練については、一つ一つのワークショップ・訓練を積み重ね内容の充実を図っていくとともに防災訓練の意義を繰り返し説明する中で、日程確保を促していく。</li> <li>浸水区域外への避難計画については、危機管理室と連携しながら検討を深める。</li> <li>無線機については、操作訓練等を重ねながら地域の無線機担当の養成を図る。</li> </ul>
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 1-2 【地域防犯対策の推進と自転車利用ルールの徹底】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>																														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>引ったくり等の街頭犯罪や子ども声かけ事案を防ぐために、地域住民がパトロール等の活動をしている状態</li> <li>自転車の利用、運転についてのルールを区民が理解し、実践している状態</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>街頭犯罪や子ども声かけ事案に対する、地域の実情に応じた啓発・巡視の実施</li> <li>自転車の利用、運転についてのルールを徹底するための啓発・指導の推進</li> </ul>																														
自己評価	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須																														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯の取組み及び放置自転車対策の成果が上がっていると思う区民の割合:80%以上(目標年次:28年度)</li> </ul>		<table border="1"> <tr> <td>戦略のアウトカムに対する有効性</td> <td>ア</td> <td>ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す</td> <td>前年度</td> <td>個別</td> <td>全体</td> </tr> <tr> <td>アウトカムの達成状況</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>防犯の取組み及び放置自転車対策の成果が上がっていると思う区民の割合:66.9%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">A:順調 B:順調でない</td> </tr> <tr> <td>戦略の進捗状況</td> <td>a</td> <td>a:順調 b:順調でない</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </table>		戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	前年度	個別	全体	アウトカムの達成状況			—	A	A	防犯の取組み及び放置自転車対策の成果が上がっていると思う区民の割合:66.9%						A:順調 B:順調でない						戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない	—	
戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	前年度	個別	全体																												
アウトカムの達成状況			—	A	A																												
防犯の取組み及び放置自転車対策の成果が上がっていると思う区民の割合:66.9%																																	
A:順調 B:順調でない																																	
戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない	—																														

具体的取組 1-2-1 【区民の安全確保のための防犯対策事業】

25決算額 1,905千円 26予算額 3,230千円 27予算額 1,350千円

計画	取組内容		業績目標(中間アウトカム)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察と連携した定期的な情報発信</li> <li>自転車盗に関する毎月26日の「二重ロックの日」におけるワイヤーキー配布の継続実施</li> <li>地域ごとの「子ども見守り隊」やPTAとの意見交換会の開催(随時)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各取組が犯罪発生件数の減少に役立っていると思う区民の割合:60%以上</li> <li>【撤退基準】</li> <li>上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。</li> </ul>	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<p>①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③:撤退基準未達成</p>		—	
自己評価	戦略に対する取組の有効性		課題	
	—		<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども声かけ事案について、地域からの情報収集が必要である。</li> </ul>	
自己評価	取組実績		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察と連携した定期的な情報発信(11回)</li> <li>自転車盗に関する毎月26日の「二重ロックの日」におけるワイヤーキー配布の継続実施(12回)</li> <li>9月に「二重ロックフェスタ」として防犯・防災・交通安全等をからめた新たな啓発イベントを開催(1回)</li> <li>地域ごとの「子ども見守り隊」やPTAとの意見交換会の開催(1回)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAなど地域団体との意見交換を密にし、情報の共有化を図る。</li> </ul>	
自己評価	業績目標の達成状況		課題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各取組が犯罪発生件数の減少に役立っていると思う区民の割合:78.9%</li> </ul>		—	
自己評価	戦略に対する取組の有効性		課題	
	○		—	

具体的取組 1-2-2 【自転車利用ルールの徹底】

25決算額 7,753千円 26予算額 6,951千円 27予算額 21,500千円

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車利用、運転ルールの徹底のための啓発指導キャンペーンの実施(毎月1回)</li> <li>駐輪禁止区域におけるサイクルサポーターによる啓発・指導</li> <li>タイミングや回数を工夫して放置自転車の撤去を実施(区CM事業)</li> <li>伝法駅周辺において約160台の駐輪場を整備(区CM事業)</li> </ul>		区内イベント等でのアンケートで啓発活動が有効であると感じる割合 60%以上  【撤退基準】 上記目標が40%未満であれば、事業を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
自己評価	戦略に対する取組の有効性	—	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車利用、運転ルールの徹底のための啓発指導キャンペーンの実施(西九条10回・千鳥橋8回)</li> <li>駐輪禁止区域等における自転車啓発指導員による啓発・案内(西九条133回・千鳥橋69回・伝法83回)(27年12月末)</li> <li>タイミングや回数を工夫して放置自転車の撤去を実施(区CM事業 110回)(28年2月末)</li> <li>伝法駅周辺において約160台の駐輪場を整備(28年3月)</li> </ul>		
自己評価	業績目標の達成状況	①(i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	区内イベント等でのアンケートで啓発活動が有効であると感じる割合: 62.9% ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		
自己評価	戦略に対する取組の有効性	○	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		

## 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題2

## 【生き抜く社会力を身につける教育と子育てしやすい環境づくり】

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞
	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自分自身の未来に希望を持ち、生き抜く社会力を身につけることができる状態</li> </ul> <p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する地域、行政のネットワークが充実し、安心して子育てができる状態</li> </ul>
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化率 大阪府 90.86%(全国第4位)(全国平均84.62%)(2010年国勢調査)</li> <li>・携帯電話・スマートフォン所有率 (2014全国都道府県ランキング調査) <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生 大阪府 61.4%(全国第3位)(全国平均44.1%)</li> <li>中学生 大阪府 84.6%(全国第3位)(全国平均76.5%)</li> </ul> </li> <li>・小中学生のこどもを持つ家庭において「自然体験や社会体験など幅広い体験機会の提供」についての支援を求める回答が多い。(平成19年度大阪市「こどもの育成について」の世論調査)</li> <li>・「入試のための勉強が主体となっているため、社会に出てから役に立つような学習の機会が必要。」(平成26年度第1回区政会議全体会議)</li> </ul> <p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪市は、安心してこどもを生み、育てられるまちだと思う」市民の割合:大阪市 30%(此花区・港区・大正区・住之江区の4区では 28.8%)(平成24年11月市政モニター)</li> <li>・「子育てに関する適切な情報が取得でき、安心して子育てができると感じる」区民の割合: 38.9%(平成26年12月区民モニター)</li> <li>・妊娠中又は3歳未満の子どもの母親の意識(平成16年調査):「不安や悩みを打ち明けたり相談する相手がいない」:21%(厚生労働省資料より)</li> </ul>
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞
<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話、スマートフォンの普及により、子どもが実社会を体験する機会が減っている。</li> </ul> <p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する適切な情報が取得できず、身近に相談する相手もいない状況となっている。</li> </ul>	
課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞	
<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが、学校における学習以外に、実社会に触れる機会の提供</li> </ul> <p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTなどを活用した子育て情報の提供や、地域における相談体制の構築</li> </ul>	

自 己 評 価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括
	<p>未来に向けた実践的な教育環境づくりについては、学校との連携を強化し、特色ある学校づくりの支援としてキャリア教育講座を実施したほか、英語を使って学ぶ「KONOHANAライブ」英語劇事業や区内在住高校生を対象とした高校生インターンシップ事業の取組など子どもたちが生き抜く社会力を身につけるきっかけとなる教育環境づくりを行った。今後は保護者の理解を深める取組として、保護者向けの講座を実施するなど内容をより充実させ、その内容を学校協議会等の場で周知していく。</p> <p>子育て支援については、子育て世帯への情報提供や地域団体との協働により講座を開催するなど子育て支援ネットワークの強化を図った。今後は、子育てについて悩みを持ちながらも支援につながらない世帯などに対し様々なアプローチを実施していく。</p>

めざす成果及び戦略 2-1 【未来に向けた実践的な教育環境づくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校・地域・区との連携により、子どもへの実践的なキャリア教育が進められている状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内各小・中学校と連携したキャリア教育講座の開催</li> <li>地元企業と連携したインターンシップの実施</li> <li>ネイティブスピーカーと生きた英語を学ぶ「英語交流事業」の実施</li> <li>子どもたちの地域社会への興味や関心を高める機会の創出</li> </ul>
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが実社会に触れる機会が増えていると感じている区民の割合:70%以上(目標年:29年度)</li> </ul>	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	—
	アウトカムの達成状況		前年度	個別	全体
	子どもが実社会に触れる機会が増えていると感じている区民の割合:47%		—	A	A
	A:順調 B:順調でない				
	戦略の進捗状況	b	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	—

具体的取組2-1-1 【子どもたちの未来のために！！事業】

25決算額 1,660千円 26予算額 2,626千円 27予算額 6,455千円

計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生を対象とするキャリア教育講座(2校)</li> <li>小学生を対象とする実社会に触れる取組(3校)</li> <li>区内在住高校生を対象とするインターンシップ事業(年1回)</li> <li>ネイティブスピーカーとの共同作業による英語劇の創作及び発表会の開催(年1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが自分の将来に希望を持てるような教育が行われていると考える区民の割合:60%以上</li> </ul> <b>【撤退基準】</b> 上記目標が50%以下であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績
		<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の実施中学校数 2校</li> <li>特色ある取り組み実施小学校数 3校</li> </ul>

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生を対象とするキャリア教育校座(2校)</li> <li>小学生を対象とする実社会に触れる取組(6校)</li> <li>区内在住高校生を対象とするインターンシップ事業((株)ユー・エス・ジェイとの連携)(年1回)</li> <li>ネイティブスピーカーとの共同作業による英語劇の創作及び発表会(区民ホール 来場者約300名)の開催(年1回)</li> <li>上記取組に関するPR(随時) 等</li> </ul>	取組については予定どおり実施したが撤退基準未達成であったため、取組内容の充実や、取組内容の理解を深める方策が必要である。	
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが自分の将来に希望を持てるような教育が行われていると考える区民の割合:29.2%</li> </ul> ③	教育支援事業について、学校と連携した取り組みの充実を行うとともに保護者の理解を深める取組として保護者向けの講座を実施するなど内容をより充実させ、その内容を学校協議会等の場で周知していく。	
	戦略に対する取組の有効性	×	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)



25決算額 ー 円 26予算額 6,890千 円 27予算額 5,502千 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	・子ども達が緑で遊べる環境として、校庭を芝生化し維持管理する活動を地域住民自らが行うことで、子ども達が地域住民と触れ合う機会を作り、子ども達の地域社会への興味や関心を高める。（2校実施）	・校庭を芝生化することで、子どもが地域社会とつながるなど実践的な教育に役立っていると感じる区民の割合：60%以上
		【撤退基準】 上記目標が50%以下であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 26年度新規事業。区内2校（西九条小学校・梅香小学校）

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	ー	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	・校庭の芝生化整備(1校) (当初規模相当実施) ・校庭の芝生化維持管理(2校)	校庭を芝生化した効果があらわれるよう地域での取組が必要である。	
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	・校庭を芝生化することで、子どもが地域社会とつながるなど実践的な教育に役立っていると感じる区民の割合：39.6% ③ ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	芝生化された学校を地域が様々な取組に活用できるようPRなどの支援を行う。	
	戦略に対する取組の有効性	×	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 2-2 【地域ぐるみで子育てをするまちに】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・子育て情報の入手が容易にできるとともに、地域における子育て支援の仕組みが適切に機能している状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・ICTなどを活用した子育て情報提供の仕組みの構築 ・子育てに悩んでいる人が、身近な地域において相談相手となる人材の確保
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・安心して子育てができると感じている区民の割合:35%以上(目標年次:29年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	—	
	安心して子育てができると感じている区民の割合:52%	39%	A	A	今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須
	A:順調 B:順調でない				—	
戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない				

具体的取組2-2-1 【子育て応援の取組】

25決算額 300千円 26予算額 300千円 27予算額 2,976千円

計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に乳幼児の子どもを育てる家庭に対する、ICTなどを活用した適切な支援、相談及び情報の提供(随時)</li> <li>親子ともに知り合いになれる子育て応援イベントの開催(年2回)</li> <li>地域における子育て応援人材の発掘</li> <li>子育てボランティア養成の学習会(年1回)</li> <li>子育て家庭に応じた保育等の子育て支援事業利用に係る相談(随時)(CM事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援策が、不安や負担感の軽減に役立っていると感じる区民の割合:60%以上</li> <li>【撤退基準】</li> <li>上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。</li> </ul>
		前年度までの実績
		・相談・情報提供の有無(件数):約200件

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	—		
戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)		

自己評価	取組実績	課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に乳幼児の子どもを育てる家庭に対する、ICTなどを活用した適切な支援、相談及び情報の提供(随時)</li> <li>保育所空き情報のHP公開(毎月更新)、利用者支援事業のHP掲載、HP掲載の教育機関一覧へ各教育施設HPへのリンク張り、子育て応援イベント、子育て講座をツイッターによる情報発信</li> <li>親子ともに知り合いになれる子育て応援イベントの開催:(2回)(200人)</li> <li>子育て講座実施回数(人数):1回(65人)</li> <li>子育て支援ボランティア養成講座の開催(連続4回)16人</li> <li>上記養成講座にて子育てボランティア登録者3人確保</li> <li>子育て支援情報紙「よっといで」の創刊(月500部)</li> <li>子育て家庭に応じた保育等の子育て支援事業利用に係る相談(随時)288件</li> </ul>	子育てについて悩みを持ちながらも子育て支援につながらない世帯をどのように把握し、支援につなげることができるか、また、子育て支援が必要であるにも関わらずその認識や自覚がない世帯へ如何にアプローチするかについての方策が必要。	
	業績目標の達成状況	改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	子育て支援策が、不安や負担感の軽減に役立っていると感じる区民の割合:54.1%	②(ii)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援ボランティア養成講座の開催回数を増やし、今以上に地域における子育て応援の担い手を確保することにより、子育て層以外からも子育て支援に対する協力・理解を得られる環境作りに取り組む。</li> </ul>
戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

## 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題3

## 【誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

## 【福祉】

・災害発生時はもとより日常生活においても、高齢者・障がい者等が地域社会において見守られ、必要に応じて適切な支援を受けることができる状態

## 【健康】

・区民が、自らの健康の維持に留意し、具体的取組を行っている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

## 【福祉】

- ・高齢人口  
65歳～ H24年10月 15,895人(24.0%)、H25年10月 16,464人(24.9%)
- ・介護認定  
24年度末 3,430人、25年度末 3,641人
- ・障がい者手帳交付  
24年度末 4,192人、25年度末 4,218人
- ・高齢者虐待相談件数（サービス利用調整会議取扱件数）  
24年度 97件、25年度 92件
- ・このはな地域見守りタイ事業における登録ボランティア数(H26.12末現在) 273名/目標300名
- ・「地域における福祉課題に関して地域で話し合いや取組が行われていると感じる」区民の割合（平成26年12月区民モニター）27.0%
- ・「地域福祉の取組に関心を持つようになったと感じる」区民の割合（平成26年12月区民モニター）51.2%

## 【健康】

- ・健康寿命（平成22年国勢調査年齢階級別）  
男性：全国 78.2歳、大阪市 76.1歳、此花区 76.5歳（24区中16位）  
女性：全国 83.2歳、大阪市 81.9歳、此花区 81.3歳（24区中21位）
- ・がん検診受診率（平成25年度）  
此花区 胃がん 3.0%、大腸がん 11.4%、肺がん 2.6%  
子宮頸がん 13.2%、乳がん 10.7%  
大阪市 胃がん 4.4%、大腸がん 8.5%、肺がん 5.2%  
子宮頸がん 17.2%、乳がん 10.7%
- ・特定健診受診率（平成25年度）  
此花区 20.8% 大阪市 19.7%
- ・運動習慣者の割合（平成26年12月区民モニター）  
此花区 42.0%

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

## 【福祉】

・地域住民が福祉に関する地域の取組に参画するしくみが整っていない。

## 【健康】

・一部のがん検診の受診率が市平均を下回っている。また、運動習慣者の割合は5割を下回っている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

## 【福祉】

・見守り活動等の取組を住民が継続的に実施していくための担い手の育成

## 【健康】

・運動習慣や検診受診率向上について、意識啓発や実践に結びつく環境づくり

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

地域福祉推進のため、「このはな地域見守りタイ」による高齢者等の見守り活動や、専門員による「見守り相談室」の設置など見守りネットワークの強化を図った。今後は、「このはな地域見守りタイ」のボランティアが積極的に声かけ等の見守り活動を行えるような工夫を行っていく。  
健康づくりについては、ポイント制によるウォーキング・健康体操等の取組を実施した。今後、健康づくりの取組に幅広い層の参加を得るため、医療関係団体や健康づくり関係団体と意見交換を行っていく。

めざす成果及び戦略 3-1 【地域に密着して福祉課題の解決をめざす】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・災害時等に支援の必要な高齢者や障がい者等について、地域での見守り体制が構築され、適切に機能している状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・地域のボランティアの協力を得て「このはな地域見守りタイ」による高齢者等の見守り活動の実施
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域における見守り体制が構築され、適切に機能していると感じる区民の割合:60%以上(目標年次:平成29年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	・地域における見守り体制が構築され、適切に機能していると感じる区民の割合:56.6%	—	A	A
	今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須		
戦略の進捗状況		a	a:順調 b:順調でない	

具体的取組3-1-1 【高齢者等の見守り活動の取組】

25決算額 6,488千円 26予算額 11,632千円 27予算額 27,258千円

計画	取組内容 ・地域住民で構成する「このはな地域見守りタイ」が、援助を必要とする高齢者等の発見及び、定期的な訪問、電話、安否確認を通じて、対象世帯の把握に努め、対象者を増やしていく(平成26年11月末現在:552人)。 ・要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備、孤立世帯等への専門的対応、徘徊者保護の強化(CM事業)	・地域における見守り体制が構築されていると感じる区民の割合:60%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 ・見守り活動:のべ5,429件(平成26年9月末現在) ・見守りボランティアの確保数:273人(平成26年12月末現在)

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績 ・「このはな地域見守りタイ」 対象者数:633人 登録ボランティア数:290人 活動回数:9,250回 (H27年12月末現在) ・「見守り強化事業」(H28年2月末現在) ・要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備 同意確認文書送付 :1,578件、回答:1,034件(内、同意 642件) 上記のうち(訪問同意確認件数:382件、回答:220件(内、同意 60件) 名簿作成し、民生委員に提供した。 ・孤立世帯等への専門的対応 : 相談延件数 684件 ・徘徊者保護の強化 : 協力者登録 115件 対象者登録 5件	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 「このはな地域見守りタイ」のボランティアが積極的に声かけ等の見守り活動を行えるような工夫が必要。
	業績目標の達成状況 ・地域における見守り体制が構築されていると感じる区民の割合:59.2%	②(i) 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 ・地域事業や安全安心情報などのチラシを作製し、見守り訪問時に持参するなど見守りボランティアが活動しやすくなる工夫をしていく。 ・区民に活動の内容を理解してもらえるよう広報紙などで周知を行う。
	戦略に対する取組の有効性	○ ○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 3-2 【健康でいきいきと暮らせる環境づくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・区民が自らの健康の維持の必要性を感じている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・健康維持に係る意識啓発のため、区内各種イベントでの健康体操の機会の提供 ・健康づくりの推進や生活習慣病の早期発見を図るためのポイント事業の継続	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・健診等により自身の健康状態を把握している区民の割合:85% (目標年次:28年度)	・ターゲットを絞った受診勧奨によるがん検診の受診率向上の取組 ・健康づくり施策の効果的な実施のため、区民の意識、活動実態を定期的に把握する。	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況		前年度	個別	全体
	健診等により自身の健康状態を把握している区民の割合84.8%		—	A	A
	A: 順調 B: 順調でない				
戦略の進捗状況	a	a: 順調 b: 順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	

具体的取組3-2-1 【このはないいきいき長生きプラン】

25決算額 1,540千円 | 26予算額 5,388千円 | 27予算額 4,055千円

計画	取組内容 【3-2-1 このはないいきいき長生きプラン】 ・区民が身近な場所で主体的に健康づくりに取り組める健康体操の実施(10地域) ・各種健診や健康講座等の認知度を高め、参加者増を図るポイント事業の継続実施 ・ターゲットを絞った受診勧奨によるがん検診の受診率向上の取組 年1回(5,500人) ・区民の健康づくりに関する意識や活動について調査する。	業績目標 (中間アウトカム) ・健康づくりなどの取組により健康づくりに対する意識が高まったと感じる区民の割合:60%以上  【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。
	前年度までの実績 ・健康体操を知っている区民の割合2.8% ・健診等により自身の健康状態を把握している区民の割合81.5%	
	業績目標の達成状況	①(i)

中間振り返り	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	— ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績 ・区民が身近な場所で主体的に健康づくりに取り組める健康体操の実施(10地域) ・各種健診や健康講座等の認知度を高め、参加者増を図るポイント事業の継続実施 ・ターゲットを絞った受診勧奨によるがん検診の受診率向上の取組 年1回(5,000人) ・区民の健康づくりに関する意識や活動について調査する。	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 取組は予定どおり実施したが、各種事業の参加者が固定化しており、より多くの方に参加していただける仕組みづくりが必要。
	業績目標の達成状況 健康づくりなどの取組により健康づくりに対する意識が高まったと感じる区民の割合:58.4%	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 ・健康づくりの取組に幅広い層の参加を得るため、医療関係団体や健康づくり関係団体と意見交換を行っていく。 ・区民に取組内容を理解してもらえよう広報紙等で効果的な啓発を実施する。
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	②(i)
戦略に対する取組の有効性	○ ○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

## 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題4

【このはなの魅力や可能性を最大限に活かした地域活力の創出】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

## 【魅力発信】

- ・区民が自分の住むまちに誇りと愛着をもち、地域の公益的活動に積極的に参画している状態

## 【環境創造】

- ・区民が日常生活のなかで、自律的に環境に配慮した活動を行える状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

## 【魅力発信】

- ・「此花区内の魅力は1年前より高まっていると思えない」区民の割合：47.8%（平成26年2月 区民モニター）
- ・「舞洲が区の地域活力に寄与していると感じる」区民の割合：35.2%（平成26年12月区民モニター）
- ・「舞洲がこのはなの魅力を醸し出す地域資源のひとつとなり、此花区の地域活力の創出に寄与していると感じる」市民の割合：29%（平成26年12月市政モニター）

## 【環境創造】

- ・「環境問題への関心やまちを美しくする意識がある」区民の割合：「とてもある」17%、「ある」64%（平成26年2月実施 区民モニター）
- ・環境に配慮した取り組みを実践している（実践したい）区民の割合：「資源回収リサイクル」61.8%、「自宅周辺や地域清掃活動」41.4%、
- 「花など育てる緑化活動」39.5%（平成24年3月実施 区民モニター）
- ・此花区の環境に関する取組の認知度
- 「地域住民による緑化の活動・種から育てる地域の花づくり事業・緑化相談」：27.4%、
- 「区民グループが中心となったかえっこバザール等（区民ホール）」：20.4%（平成25年2月実施 区民モニター）

計  
画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

## 【魅力発信】

- ・区民に対して、此花のまちの魅力を伝えきれていない。
- ・舞洲が新たな此花のまちの魅力として、地域活力の創造につなげていない。

## 【環境創造】

- ・緑化活動等環境に関わる取組は地域活動として行われているが、家庭や身近な場所での実践にはつなげていない。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

## 【魅力発信】

- ・あらゆる世代へ向けた積極的な情報発信
- ・此花のまちの魅力に関する自由な意見交換の場の提供
- ・舞洲を活用したイベントの開催による、此花のまちの新たな魅力創出

## 【環境創造】

- ・子どもへの啓発や多世代が参加できる環境づくりの取組の推進

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

このはなの魅力発信においては、区民が舞洲の魅力を改めて知ることが出来るよう、舞洲のスポーツ施設を活用した「MKBの祭典」を開催したほか、区内外の参加者からのアイデアをもとに新しい取組を創出する「このはなブランドラウンドテーブル」を実施した。今後も取組内容の充実や発信を行っていく。

環境創造のモデル的な取組の推進については、環境への関心を高めるため、環境創造に係る啓発・情報発信や子どもへの環境教育の推進を図った。今後は、引き続きこのはな環境創造ビジョンに基づき、身近な環境活動の推進に取り組んでいく。

自己  
評価

めざす成果及び戦略 4-1 【人を育てる視点で「このはな」の魅力発信】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・区民が舞洲の魅力の再認識などを通じて、此花のまちに誇りと愛着を持つことができる状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・区が有する広報手段だけでなく、民間企業等との連携を図り、此花のまちの魅力を区民に対して発信 ・新たな魅力創出のための自由な意見交換の場の提供 ・舞洲が此花区の新たな魅力資源であるという認識を区民に印象づけるためのスポーツ・レクリエーション関係のイベントの実施
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・此花区のまちに愛着と誇りを持つ区民の割合:60%以上(目標年次:29年度) ・舞洲の魅力を改めて認識したと感じている区民の割合:50%以上(目標年次:29年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体			
	此花区のまちに愛着と誇りを持つ区民の割合74.0%	—	A	A	—
	舞洲の魅力を改めて認識したと感じている区民の割合49.5%	—	A	A	—
戦略の進捗状況		a	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	

具体的取組 4-1-1 【このはなブランドラウンドテーブルの活用】

		25決算額	0千円	26予算額	0千円	27予算額	0千円
計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)					
	・此花区の魅力を高めるための自由に意見交換できる場として「このはなブランドラウンドテーブル」を継続実施(年12回) ・此花区の未来に向けた議論の中で出されたアイデアや取組みを情報発信(年12回)	・此花区の魅力を再認識した区民の割合:60%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	—					
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	・此花区の魅力を高めるための自由に意見交換できる場として「このはなブランドラウンドテーブル」を継続実施(年11回) ・此花区の未来に向けた議論の中で出されたアイデアや取組みを情報発信(年11回)	「このはなブランドラウンドテーブル」において、此花区の魅力を高める取組みにつながるような議論の活性化が課題。					
	業績目標の達成状況 此花区の魅力を再認識した区民の割合:51.7%	②(i)					
①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
戦略に対する取組の有効性		○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				

## 具体的取組4-1-2

## 【MKBプロジェクト】

25決算額 2,315千円 26予算額 3,449千円 27予算額 3,361千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）
	・区民が舞洲の魅力を改めて知ることが出来るよう、舞洲のスポーツ施設を活用した「MKBの祭典」を開催（年1回）		・MKBの取組が舞洲の魅力の向上につながっていると思う区民の割合：60%以上  【撤退基準】 上記目標が40%未満であれば、事業を再構築する。
			前年度までの実績 MKBの祭典 年1回
中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須  —
	戦略に対する取組の有効性	—	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	MKBの祭典を11月1日に開催		・MKBの祭典の企画・運営を区民の公募による実行委員会形式にしたため、企画決定に時間を要し、十分な周知期間が取れなかった。
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 実行委員会の活動を早期に開始し、個別メニューの早期確定を行い、区民への十分な周知を行う。
MKBの取組が舞洲の魅力の向上につながっていると思う区民の割合：49.8%	②(i)		
	戦略に対する取組の有効性	○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)



めざす成果及び戦略 4-2 【環境先進都市・大阪をめざすために行う環境創造のモデル的な取組みの推進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・区民が日常生活の中で環境問題に関心が持てる状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・環境創造に関する啓発・情報発信 ・緑化等これまで地域住民が取り組んできた身近な環境活動の推進 ・公募による新たな環境創造の取組の支援	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・環境負荷の低減やまちの緑化、美化など環境問題に関心が高い区民の割合:60%以上(目標年次:平成29年度)		

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況		前年度	個別	全体
	環境負荷の低減やまちの緑化、美化など環境問題に関心が高い区民の割合:68.7%		—	—	A
	戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組 4-2-1 【このはな環境創造プロジェクト】

		25決算額	4,262千円	26予算額	5,000千円	27予算額	5,000千円
計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム) ・まちの緑化、美化などの活動に関心がある区民の割合:60%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。					
	取組内容	前年度までの実績 ・環境教育支援回数(3回) ・環境活動活性化(清掃用具貸与11回) ・環境創造に係る周知(1回) ・「このはな環境創造ビジョン(仮称)」の策定					
中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)					
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					

「平成27年度 市政改革の基本方針」に基づく取組等

取組項目1

【歳入の確保 国民健康保険料の収納率向上】

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	・保険料負担の公平性の確保と本市の歳入増を図る。 (参考) 【此花区国民健康保険料収納率】 23年度 85.30% (全市平均 85.29%) 24年度 85.37% (全市平均 85.33%) 25年度 85.44% (全市平均 85.72%)	・収納対策 ①滞納整理(差押の計画的実施) ②早期納付指導 ③口座振替の徹底 ④資格の適正化(社会保険加入調査・不現住調査) ⑤賦課適正化(保険料の軽減・減免)

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	滞納初期世帯に対し、督促状を送付しているが接触が難しいため、区独自の警告文書を早期に送付することにより納付指導の強化を図る。

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「③」の場合は必須
	【此花区国民健康保険料】 26年度 86.75% (全市平均 86.81%)  ・H27年度は、財産調査・差押え予告・差押等の計画的・効果的な実施により滞納整理の実施強化を図った。また、滞納初期世帯への早期の納付指導の強化を図るとともに、口座振替・自動払込の勤奨強化により口座登録世帯の加入率が増加した。さらに、国保資格の適正化と取組強化や保険料の賦課適正化の取組強化を行った。これらの収納対策により収納率は前年度より向上している。 ①:目標達成 ②:目標未達成	—

取組項目2

【自律した自治体型区政運営を支える職員の育成】

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・自律した自治体型区政運営を支える職員を育成する (取組の概要) ・職員のスキル向上に向けた各種研修の充実や職場風土づくり等 (目標) ・仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合: 90%以上	(取組内容) ・此花区職員力向上基本プランに基づいて職員のスキル向上に向けた各種研修の充実や職場風土づくり等の取組を進める (目標) ・仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合: 90%以上(平成27年度末に職員アンケートを実施)

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「③」の場合は必須
	(取組実績) ・職員のスキル向上に向けた外部専門家による接遇及び業務改善研修の実施 ・職場活性化、業務改善のための区長座談会の実施 (達成状況) ・仕事にやりがいを感じている、ある程度感じている職員の割合 → 72.2% ①:目標達成 ②:目標未達成	(課題) 日常業務との兼ね合いにおいて職場におけるOJTの実施や業務研修などが不十分であった。 (改善策) ・区長直属チームを発足させ、区役所サービスの向上を図るほか、職員のスキル向上に向けた講座を開催するなど職員の職場改善意識の向上を図る。